

# 校長室から見える風景

鹿児島市立長田中学校



## 自律した学習者の育成を目指して

### ～数学科での単元内自由進度学習への挑戦～

あれは確か、昨年8月の終わり。突然、1年の数学を担当していた田代教諭が、校長室にやってきた。今思えばあの時が、長田中学校にとって大きな分岐点だったかもしれない。

彼は、今までの職員研修（教員の校内での学習会）から、単元内自由進度学習にチャレンジしてみたいと言った。よくよく話を聞くと、今までの授業では、学習目標に従い、個の学習や、時にはペアやグループ学習を用いながら、一斉学習に取り組んできたらしい。しかし、その授業では、できる子がもっとできるように指導していくことや、また、なかなか学力の定着が難しい子の対応が補充的な学習になってしまうことなどに対して、ジレンマを抱えており、モヤモヤ感があったとのこと。そんな時、研修で学んだ「自律した学習者の育成」の一つの方法としての単元内自由進度学習を取り入れて授業をしてみたいというものだった。

折りしも、9月には田代先生は研究授業を控えていた。私は、とても嬉しかった。どの業界もそうだと思うが、就職して10年、20年と時が経つと、今までの方法から全く別の方法にチャレンジするということは、かなりハードルが高いものだ。何よりも勉強もしなければならないし、時間もかかるからだ。人は変化を嫌う生き物だ。その決断をした彼に敬意を表したい。ただ、彼は1月に実施される鹿児島学習定着度調査の結果を気にしていた。彼には、結果にこだわらず、チャレンジすることを勧めた。

教室には、学力の定着度を含め、多様な子供が存在している。学習面や行動面で困難を示す子供、得意な才能のある子供、不登校に悩む子供、そして、それぞれの認知特性（言語優位、視覚優位、聴覚優位）もバラバラである。文部科学省の役人や大学の研究者も以前から、「同じ内容を、同じ方法で、同じペースで進める」一斉授業の限界を指摘している。次頁では、本校数学科の取組について紹介したい。

## 子供たちの感想から

4月22日（月）、今年度最初の研究授業が2年生の3クラスで橋口先生を中心として行われた。その後、子供たちの感想をいただいたので紹介したい。

○友達と一緒に進めることができた。家で暇なときにもステップクリアを復習したい。「自分で進めていく」という中学のルールのおかげで数学が好きになった。

○今日学んだことは、「正の符号・負の符号」です。しっかりと予定通りにワークや教科書を進められたので、家での復習をきちんとしようと思います。

○今回は前回の目標通り、次のページへ進むことができました。そして今回グループの子の分からないところを上手く説明できました。1年生の頃は分からないところは誰かに説明してもらおう側ばかりだったので嬉しかったです。今回は多項式の引き算のところまでできました。まだ入ったばかりなので、今日分かったことには入りませんが、明日には終わらせたいです。



○小学校で学んだ正の数、負の数をより深められたのでとても嬉しい。また、友達と協力して出来たので色々な意味で楽しかった。

○「+」-「-」は、「-」と「-」だったら、ここが「+」になることが分かった。僕は先に進んだので、人に教えることができた。33ページ終わった。



## 深掘り！ 単元内自由進度学習（数学科ガイダンス資料から）

長田中学校では、皆さんに主体性をもって授業に臨んでもらうために、単元内自由進度学習という授業形態で授業を行っていきます。この授業形態は、みなさんそれぞれが、決められた時間の中で、自分のペースで、自分の選択した課題に、自分の考えた方法で取り組んでいくこととなります。

皆さんは、自分のよさや可能性を認識しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越える力を身に付けていく必要があります。『個別最適な学び(自分の目標や進度に合った形で学んだり、自分の興味関心のあるものを選んで学んだりすること)』と『協働的な学び(他者と協働しながら学ぶこと)』を通して、数学の力を身に付けるとともに、互いに協力したり、ICTを活用したりしながら、『自律した学習者』となれるように学びを深めていきましょう。

### なぜ自律した学習者が求められる？

「自律した学習者」でなければ、いつまでも誰かの指示がなければ動けず、その指示も正しいかどうか判断できず、言われたことをそのまま行う。また、自分で主体的にものや考えを創り出したり、友達と協力して課題を解決する喜びが感じられないまま、ただ日々を過ごしていく。夢や目標を実現し、また、幸せな人生を送るためには、それでよいのでしょうか。

※ 今年度、本校の数学科では、3名の教員が全員単元内自由進度学習に取り組み、すべての学級・学年にかかわる授業を展開しています。ですから、各学年の数学の授業は同じ時間帯に組んでいます。様々な方にぜひ子供たちの学びの姿をご覧いただきたいと思っています。

## 授業の基本的な流れ

### 【10分】

先生の説明等を聞き、ポイントをつかむ。

（基本的な用語等の確認や前時の振り返り）

### 【30分】

学習目標等を確認し、自分の課題を進める。

①自分や友達の学習目標を確認し、課題に取り組む。

②学習目標の達成を目指し、各自の課題に取り組む。

※ 学級を解いて行う。同じ学年の他のクラスへ移動してもよい。（全学級同時に実施）

※ 班を作って友達との教え合いや競い合いで学び合うのも可とする。

※ 教科書、ワーク、eboard、navima、NHK for school、ロイロノートなどを積極的に活用すること。教科書の答えは、ロイロノートの資料箱で確認すること。

（注1）学習動画を視聴する場合は、イヤホン・ヘッドホン等を使うこと。

（注2）他の生徒の道具を勝手に触らない。

### 【10分】

考えの整理と新たな気付きを得る時間とし、次時の見通しと学習目標を提出する。

① 『学習計画表 兼 進度確認表』の入力

② 『振り返りシート』での振り返り。達成度の自己評価と、学びの記録をロイロノートで提出

② 次時の学習の見通しと、学習目標の作成

### 振り返りの内容

- ・自分の学習目標の達成度
- ・間違えた問題の分析 **【間違いは宝物】**
- ・学習で意識したこと
- ・身に付いた力やできるようになったこと
- ・課題を解決するために試行錯誤したこと
- ・前時までの学習で、学習に役立ったこと
- ・今後の学習や生活の中で生かせそうなこと

※ この文章ではイメージがつかみにくいかもしれません。参観されたい方は、いつでも学校にお電話ください。可能な限り、ご案内いたします。